組合だより

2018. 1. 17発行　第205号

札幌鉄工関連協同組合
・TEL 661-2648　・FAX 665-1408
http//kanren.sakura.ne.jp/
e-mail : kanren00@poem.ocn.ne.jp

☆ 新年交礼会を開催 ☆

平成30年新年交礼会が、1月15日（月）午後6時より札幌ホテルヤマチで開催されました。

会は、山本理事の司会で進められ、今井理事長の挨拶のあと、ご来賓の北海道経済産業局地域経済部・伊藤部長、北海道経済部・野村産業振興局長、札幌市経済局・田中産業振興部長からご挨拶をいただきました。

今井理事長から多くの皆様、ご来賓皆様とともに新年を迎えることができ何より喜ばし事と組合員皆様からの組合活動に対する多大な協力のお礼の言葉がありました。

昨年に引き続き景気の好調は続いてるが、アベノミクスが始まってから株価は三倍になっているのに、中小企業にはその実感がない。また人手不足が全道的にも広がっていて、特に運送業は慢性時に人手不足である。経営におけるビジネスチャンスを逃さない為にも、もっと雇用問題に取り組んでいきたいと話されました。

伊藤部長からは、平成29年度補正予算として計上している、ものづくり補助金1000億円とバックオフィス業務補助金 500 億円を有効に組合員の皆様に活用して欲しいと要望されました。

第七回ものづくり日本大賞の製品・技術開発部門の優秀賞に、当組合員の札幌ボデー工業㈱と北海道エア・ウォーター㈱の受賞が発表されました。

野村局長からは 5 年連続で増加している道内への外国人観光客が 230 万人を突破し、依然輸出も伸びていること。台風の影響で通行止めになっていた日勝峠が昨年10月に開通したことの感謝、冬季五輪を誘致したいとのお話がありました。

田中部長からは、景況感は三期連続で改善しており、今後もさらに上昇していくと予想される一方で、人口減少や高年齢化が進む中で人手不足やマーケットの縮小が危惧される。札幌市では「SAPPORO MAKERS FILE 」の発刊や「ものづくり学校祭」という体験型イベントを開催し300名を超える中高生に参加して頂きました。地域経済を元気にする振興策をこれからも積極的に展開していきたいと述べられました。

その後、北海道中小企業団体中央会の福迫専務理事のご挨拶と乾杯で祝宴に入り、来賓を含め61 名の出席者は、名刺交換や情報交換、さらにビンゴ大会など和やかに交流し、懇談が行われました。

組合員企業からのお知らせ

（株）鉄工団地自動車学園

【 準 中 型 免 許 の ご 案 内 】

「準中型免許は18歳から取得できる最上位免許
車両総重量7.5トン未満まで運転が可能」

今までは運転経験2年以上、最小20歳以上でなければ運転できなかった車両総重量 5～7.5トントラックも運転できるようになりました。当学園では、12 月より準中型教習が新たに加わり、現在準中型5トン未満限定（旧普通免許）の方も、限定解除することでワンランク上の車両を運転することが可能となります。

※詳しくは担当者までご連絡ください。

【連絡先】

札幌市西区発寒16条13丁目1-10
株式会社　鉄工団地自動車学園
担当　小松・佐藤
TEL. ０１１－６６３－１４１４